

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2007年9月24日~9月28日)

発表日: 2007年9月21日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 日本経済短期チーム  
TEL: 03-5221-4528

(9月24日~9月28日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	予測値	予測レンジ	前回結果
9月24日(月)	振替休日				
9月25日(火)	8:50 8月企業向けサービス価格指数(前月比)	—	—	—	+0.1%
	(前年比)	—	—	—	+1.6%
	8:50 金融政策決定会合議事要旨 (8月22日・23日分)				
9月26日(水)	14:00 8月チェーンストア販売統計 店舗調整後販売額(前年比)	—	—	—	▲2.8%
	8:50 8月貿易統計				
9月27日(木)	輸出金額(前年比)	+10.0%	—	—	+11.8%
	輸入金額(前年比)	+10.0%	—	—	+17.0%
	貿易黒字(原数値)	2109億円	2,215億円	850億円~6500億円	6,665億円
9月28日(金)	須田日銀審議委員挨拶				
9月28日(金)	8:30 8月消費者物価指数・全国コア(前年比)	0.0%	▲0.1%	▲0.2%~+0.1%	▲0.1%
	全国総合(前年比)	▲0.2%	▲0.2%	▲0.4%~+0.1%	0.0%
	8:30 9月消費者物価指数・東京コア(前年比)	0.0%	0.0%	▲0.1%~+0.1%	0.0%
	東京総合(前年比)	0.0%	▲0.1%	▲0.3%~+0.1%	▲0.2%
	8:30 8月労働力調査 完全失業率	3.6%	3.6%	3.6%~3.7%	3.6%
	8:30 8月一般職業紹介状況 有効求人倍率	1.07倍	1.07倍	1.06倍~1.08倍	1.07倍
	8:30 8月家計調査(農林漁家世帯を含む)				
	実質消費支出・全世帯(前年比)	+1.7%	+1.2%	+0.2%~+2.2%	▲0.1%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	—	—	—	▲3.3%
	8:50 8月鉱工業生産指数(前月比)	+3.4%	+3.1%	+1.0%~+5.0%	▲0.4%
	(前年比)	+4.3%	+4.0%	+2.1%~+5.8%	+3.2%
	8:50 8月商業販売統計				
	小売業販売額(前年比)	▲1.0%	▲0.4%	▲2.0%~+1.5%	▲2.3%
	14:00 8月住宅着工統計				
	新設住宅着工戸数(前年比)	▲17.1%	▲15.5%	▲38.4%~+3.5%	▲23.4%
(季節値年率)	106.6万戸	108.6万戸	78.4万戸~130.0万戸	94.7万戸	

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

## 【注目ポイント】

輸出、生産、物価、消費など、来週は重要指標が多く公表される。8月分の経済指標がほぼ出揃うことで、7-9月期のGDP成長率のイメージも徐々に固まってくるだろう。

8月鉱工業生産は前月比+3.1%がコンセンサス。予測指数の同+6.8%はさすがに下回るが、大幅に増加する見込みである。輸出も8月は好調だった見込みであり、7-9月期に輸出、生産が持ち直していることが確認される可能性が高そうだ。もっとも、米国経済の先行き不透明感が強まっていることもあり、先行きの不確実性が増していることは確かである。その意味において、9、10月の生産予測指数も注目される。

8月小売業販売額、家計調査といった消費関連統計は持ち直しが予想される。8月の景気ウォッチャー調査(家計動向関連)は戻りが限定的だったのだが、その後公表された百貨店販売とコンビニ売上は7月からかなり持ち直している。7月の消費関連統計は悪材料が集中したことから総崩れとなっていたが、7月の落ち込み分を8月にどの程度取り戻せたかを確認したいところ。戻りが弱いようだと7-9月期GDPの下振れ懸念や先行きの消費停滞懸念が出てくる。一方、8、9月が底堅い結果になれば、7月の落ち込みは一時

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

的なものであり緩やかな増加基調は変わっていないという評価になるだろう。

8月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合）は前年比▲0.1%と、7ヵ月連続のマイナスがコンセンサス。食料品価格が上昇することに加え、パック旅行や宿泊料などが押し上げ要因になるが、石油製品のプラス寄与が縮小することで打ち消されるという見方が多いようだ。ただし、足元でマイナスが続いている持家の帰属家賃について、前年の裏が出ることからマイナス幅が縮小する可能性がある。その場合にはCPIコアもゼロ%に改善し、2007年1月以来のマイナス圏脱出となる可能性があることには注意したい（筆者はゼロ%を予想）。

その他、普段は地味な扱いを受けている住宅着工統計も、今月は重要度が高い。7月の住宅着工は94.7万戸（季節済年率換算）と、改正建築基準法の施行（6月20日）に伴う建築確認遅滞の影響により急減した。8月についても確認業務停滞はほとんど解消されなかった模様であり、着工も低迷が続いたと予想される。落ち込み幅が大きいだけに、こうした状況が続くようであれば、7-9月期以降のGDP成長率に影響が出てくる可能性がある。

（主任エコノミスト：新家 義貴）

### 【重要指標の当社予測とコメント】

#### **8月貿易統計・貿易黒字額（原数値）** 当社予想：2,109億円 中央値：2,215億円

8月の貿易黒字額は2109億円、前年比+10.0%を予測する。輸出入別に見れば、輸出は米国向けがやや弱めとなるものの、アジア、EU、その他地域向けが堅調に推移したことで前年比+10.0%と前月並みの伸びとなることを見込む。一方、輸入についても原油価格が引き続き上昇した影響もあって前年比+10.0%と高めの伸びが続いたとみられる。先行きについては、世界景気の拡大により輸出の増勢が強まること、原油価格が一段と上昇していく公算は大きくないと考えることから貿易黒字額は増加基調で推移すると考える。

（副主任エコノミスト：柵山順子）

#### **8月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合）** 当社予想：前年比 0.0% 中央値：同 ▲0.1%

8月の全国消費者物価指数（コア）は前年比0.0%と、2007年1月以来のマイナス圏脱出となると予想する。石油製品のプラス寄与が縮小するものの、食料品価格が上昇することに加え、パック旅行や宿泊料などが押し上げ要因になる。また、足元でマイナスが続いている持家の帰属家賃も、前年の裏が出ることからマイナス幅が縮小しそうだ。

マイナス圏脱出の可能性とはいっても所詮はゼロであり、物価の基調が弱いことには変わらない。ただし、値上げ報道が増加し、実際に物価上昇品目も増えてくるなど、物価を取り巻く環境に若干変化の兆しがみられていることもまた事実である。少なくとも、物価が今後マイナス幅を拡大させていく可能性は小さくなっていると思われる。消費者物価コアは11月頃にはプラスに転じてくる可能性があるだろう。その後は、極めて緩やかなペースで上昇していくと予想される。（主任エコノミスト：新家義貴）

#### **8月完全失業率／有効求人倍率** 当社予想：3.6%/1.07倍 中央値：3.6%/1.07倍

失業率は4月から3%台に突入し、足元で改善スピードを早めている。それでもなお、7-9月期の法人企業景気予測調査（8月下旬～9月上旬調査分）をみると企業の人手不足感は非常に強く、雇用環境の改善は今後も続くと予想する。8月の失業率は改善基調は続くものの、先月から横ばいの3.6%を予測する。

（副主任エコノミスト：柵山順子）

#### **8月家計調査（農林漁家世帯を含む）** 当社予想：前年比 +1.7% 中央値：同 +1.2%

8月の実質消費支出は前年比+1.7%を予測する。ガソリン価格の上昇や株価の下落などもあって消費マインドは低迷し、夏のボーナスも消費を押し上げるまでには至らなかったと考えられるが、天候が回復した

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ことは消費にとってプラスである。気温も高かったため、エアコン、冷蔵庫などの耐久消費財が好調だったことに加えて飲料、電力消費などが増加したとみられる。8月の消費支出は7月の落ち込みから幾分持ち直すとする。 (副主任エコノミスト：長谷山則昭)

**8月鉱工業生産指数 (前月比) 当社予想：前月比 +3.4% 中央値：同 +3.1%**

予測指数の前月比+6.8%はさすがに下回るが、前月比+3.4%と大幅な伸びが実現すると予想する。7月に地震の影響で下押しされた反動の面も大きいですが、その要因を加味しても強めの結果になると思われる。

(主任エコノミスト：新家義貴)

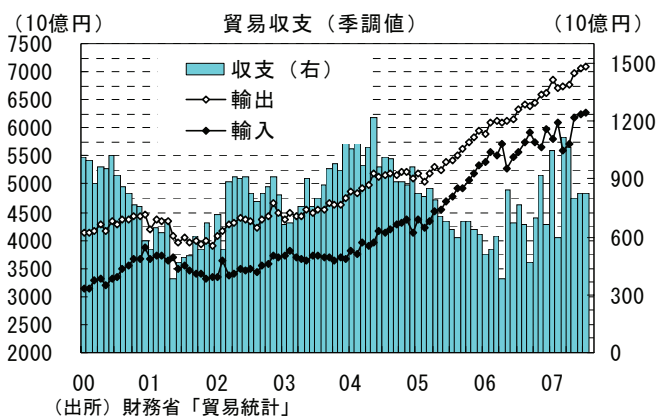
**8月小売業販売額 (前年比) 当社予想：前年比 ▲1.0% 中央値：同 ▲0.4%**

8月の小売業販売額は前年比▲1.0%、前月比では+2.2%を見込む。すでに公表されている百貨店売上高は前年比+1.4%と夏物商材に動きが見られたことから2ヶ月ぶりにプラスとなり、乗用車販売も新車投入および地震による影響の剥落などからマイナス幅が縮小している。ガソリン価格の上昇や株価の下落などが消費の抑制要因となったものの、天候の回復により小売業販売額は7月から持ち直したと考える。 (副主任エコノミスト：長谷山則昭)

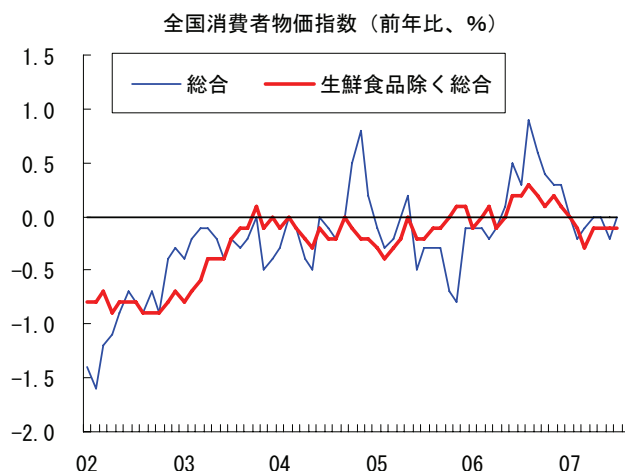
**8月新設住宅着工戸数 (前年比) 当社予想：前年比 ▲17.1% 中央値：同 ▲15.5%**

8月の住宅着工戸数は前年比▲17.1%、年率換算済み季節調整値 106.6 万戸を予想する。7月は改正建築基準法が施行された影響で、確認申請の手続きが遅れ年率換算で 94.7 万戸と大きく落ち込んだが、8月も同様の要因が続くと見込まれる。ただし、マニュアルの作成や質疑・応答がまとめられるなど、実務上の効率化を図る取り組みが進んでいることから、手続きの問題による住宅着工の下押し要因は徐々に剥落していくと考えられる。先行きに関しては、金利や地価の上昇が抑制要因となるものの、雇用・所得環境の改善が見込まれることから、底堅く推移するものと思われる。 (エコノミスト：中本泰輔)

図表 1

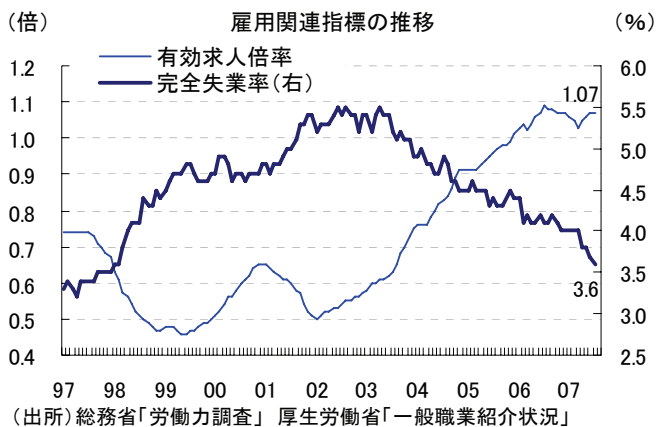


図表 2

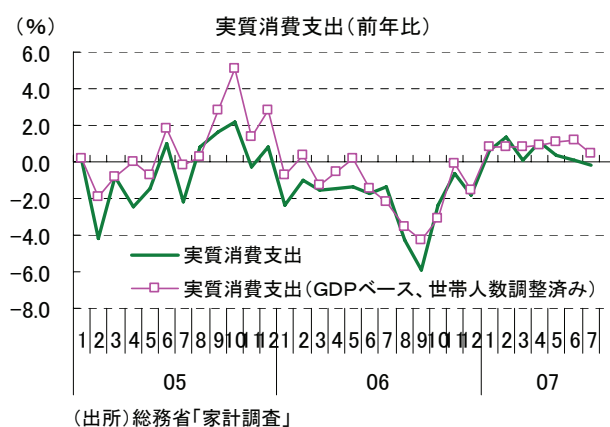


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

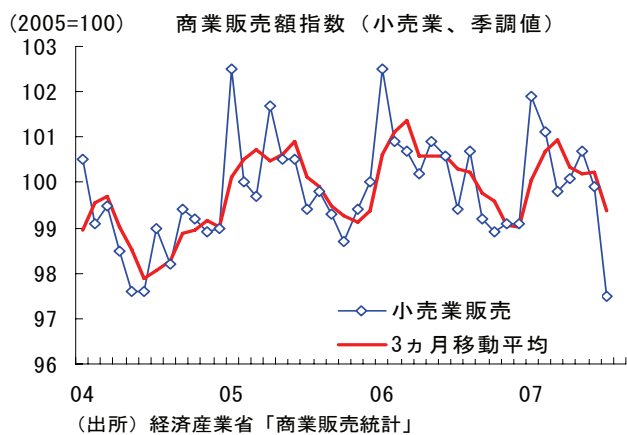
図表 3



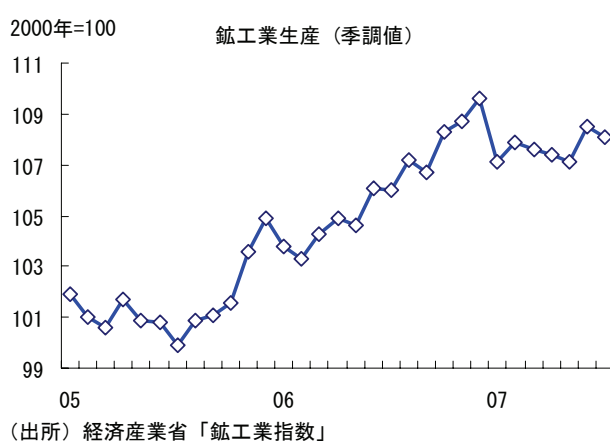
図表 4



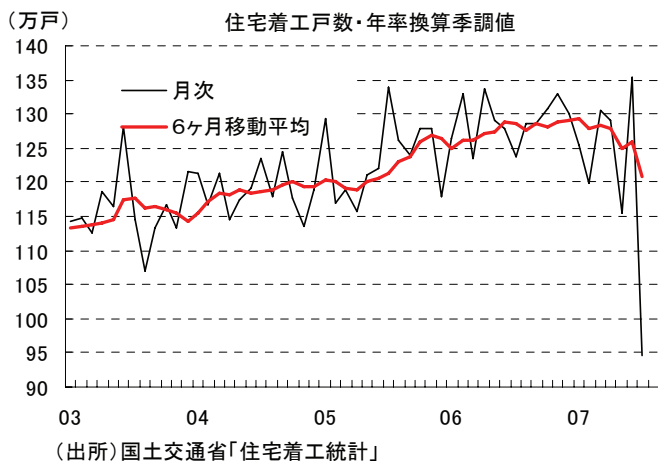
図表 5



図表 6



図表 7



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

9月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
<p>9/3 4-6月期法人企業統計(8:50) 7月毎月勤労統計(10:30) 8月自動車販売(14:00) 8月軽自動車販売(14:00)</p> <p>(欧)8月製造業PMI(確定値) (タイ)4-6月期実質GDP</p>	<p>4 8月マネタリーベース(8:50) 7月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債</p> <p>(米)8月ISM製造業指数 (米)8月自動車販売 (米)7月建設支出</p>	<p>5 (米)ページブック (米)7月中古住宅販売保留</p>	<p>6 (米)4-6月期非農業部門労働生産性(確) (米)8月ISM非製造業指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合</p>	<p>7 7月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 7月景気動向指数(14:00)</p> <p>(米)8月雇用統計</p>
<p>10 4-6月期GDP2次速報(8:50) 8月マネーサプライ(8:50) 8月貸出・資金吸収(8:50) 8月景気ウォッチャー(14:00)</p> <p>(米)7月消費者信用残高</p>	<p>11 7月機械受注(8:50) 5年利付国債</p> <p>(米)7月貿易収支</p>	<p>12 7月国際収支(8:50) 8月企業物価(8:50) 8月消費動向調査(14:00)</p>	<p>13 7月商業販売統計・確(13:30)</p> <p>(米)8月財政収支</p>	<p>14 8月投入・産出物価指数(8:50) 7月鉱工業指数・確(13:30) 9月月例経済報告</p> <p>(米)8月輸入物価 (米)8月小売売上高 (米)8月鉱工業生産 (米)9月ミンガン大消費者センチ(速) (米)7月企業在庫</p>
<p>17 (米)9月NY連銀製造業指数</p>	<p>18 9月ロイター短観(8:30) 7月第3次産業活動指数(8:50) 4-6月期資金循環(8:50) 7月毎月勤労統計・確(10:30) 7月建設総合統計(14:00) 金融政策決定会合(~19日)</p> <p>(米)FOMC (米)9月NAHB住宅市場指数 (米)7月対米証券投資</p>	<p>19 7月景気動向指数改訂(14:00) 8月全国百貨店売上高(14:30) 9月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 2007年基準地価(16:50)</p> <p>(米)8月消費者物価 (米)8月住宅着工件数 (米)8月建設許可件数</p>	<p>20 7-9月期法人企業景気予測調査(8:50) 8月コンビエンスストア統計(16:00) 20年利付国債 福井日銀総裁挨拶</p> <p>(米)8月景気先行指標 (米)9月フィラ連銀指数</p>	<p>21 7月全産業活動指数(8:50)</p> <p>(欧)9月製造業PMI(速報値)</p>
<p>24</p>	<p>25 8月CSPI(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(8月22・23日分)(8:50) 8月チェーンストア販売統計(14:00)</p> <p>(米)8月中古住宅販売件数 (独)9月IFO景況感指数</p>	<p>26 8月貿易統計(8:50)</p> <p>(米)8月耐久財受注</p>	<p>27 2年利付国債 須田日銀審議委員挨拶</p> <p>(米)4-6月期実質GDP(確定値) (米)8月新築住宅販売件数 (米)8月求人広告指数</p>	<p>28 8月消費者物価・全(8:30) 9月消費者物価・都(8:30) 8月労働力調査(8:30) 8月一般職業紹介状況(8:30) 8月家計調査(8:30) 8月鉱工業指数(8:50) 8月商業販売統計(8:50) 8月住宅着工統計(14:00)</p> <p>(米)8月個人所得・消費 (米)8月PCEデフレーター (米)9月シカゴPMI (米)9月ミンガン大センチ(確) (米)8月建設支出 (欧)9月消費者物価(速)</p>

(※)印は期日が未定のもの



10月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10/1 9月日銀短観(8:50) 8月毎月勤労統計(10:30) 9月自動車販売(14:00) 9月軽自動車販売(14:00)  (米)9月ISM製造業景況指数 (欧)9月製造業PMI(確定値)	2 9月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 9月マネタリーベース(8:50) 8月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債  (米)9月自動車販売 (米)8月中古住宅販売保留	3 (米)9月ISM非製造業景況指数	4 10年物価連動国債 岩田日銀副総裁挨拶  (米)8月製造業受注指数 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 8月景気動向調査(14:00)  (米)9月雇用統計 (米)8月消費者信用残高
8 ※(シンガポール)7-9月期実質GDP	9 9月景気ウォッチャー  (米)FOMC議事録(9/18)	10 8月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 金融政策決定会合(~11日)  ※(米)9月財政収支	11 8月機械受注(8:50) 8月国際収支(8:50) 9月マネーサプライ(8:50) 9月貸出・資金吸収(8:50) 10月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※10月月例経済報告  (米)9月貿易収支 (米)9月輸入物価	12 9月企業物価(8:50) 9月消費動向調査(14:00) 5年利付国債  (米)9月小売売上高 (米)10月シガン大消費者センチ(速) (米)8月企業在庫
15 8月鉱工業指数・確(13:30) 8月商業販売統計・確(13:30)  (米)10月NY連銀製造業指数	16 9月投入・産出物価指数(8:50) 30年利付国債  (米)9月鉱工業生産 (米)10月NAHB住宅市場指数 (米)8月対米証券投資	17 8月第3次産業活動指数(8:50) 8月毎月勤労統計・確(10:30) 8月景気動向指数改訂(14:00) 8月建設総合統計(14:00)  (米)ページブック (米)9月消費者物価 (米)9月住宅着工件数 (米)9月建設許可件数	18 10月ロイター短観(8:30)  (米)9月景気先行指標 (米)10月フィラ連銀指数 ※(中国)7-9月期実質GDP	19 8月全産業活動指数(8:50) ※9月全国百貨店売上高(14:30)  (英)7-9月期実質GDP
22 ※9月チェーンストア販売統計(14:00) 9月コンビニエンスストア統計(16:00)  ※(韓国)7-9月期実質GDP	23 ※10月主要銀行貸出アンケート調査(8:50)	24 ※9月貿易統計(8:50)  (米)9月中古住宅販売件数 (欧)10月製造業PMI(速報値)	25 9月CSP(8:50) 20年利付国債  (米)9月耐久財受注 (米)9月新築住宅販売件数 (米)9月求人広告指数 (独)10月Ifo景況感指数	26 9月消費者物価・全(8:30) 10月消費者物価・都(8:30) 9月鉱工業指数(8:50)  (米)10月シガン大センチ(確)
29 9月商業販売統計(8:50)	30 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月家計調査(8:30) 2年利付国債	31 9月毎月勤労統計(10:30) 9月住宅着工統計(14:00) 10月BOJ展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合  (米)FOMC (米)7-9月期実質GDP(速報値) (米)7-9月期雇用コスト指数(速) (米)10月シカゴPMI (米)9月建設支出 (欧)10月消費者物価(速)	11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債  (米)9月個人所得・消費 (米)9月PCEデフレーター (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売 (米)9月中古住宅販売保留	2 10月マネタリーベース(8:50) 9月家計消費状況調査(14:00)  (米)10月雇用統計 (米)9月製造業受注 (欧)10月製造業PMI(確定値)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。